

「中学生が生涯学習事業について社会体験学習をしました」

笠間中学校の2年生3名が、夏休み中の3日間、社会体験学習として生涯学習課が担当している文化振興と青少年の健全育成の事業に参加しました。

◆試掘調査

家や道路をつくる際には、文化財保護の観点から遺跡の有無について調査を行います。遺跡をこわさないように作業は慎重に行います。生徒たちは、初めて使う道具にも徐々に慣れ、汗をかきながら熱心に取り組みました。土の中から縄文土器の破片を見つけ、古代の歴史や文化財の保護に関心を持ったようでした。



試掘調査を体験中

◆全国こども陶芸展

全国こども陶芸展は、陶芸を通して自由な創造力を発揮する場として、市内の子どもたちの作品だけでなく全国からたくさんのお応募があります。生徒たちは、

入選作品を茨城県立陶芸美術館に展示する作業に参加しました。普段見ることのできない美術館の裏側を知ることができ、貴重な体験となりました。



展示作業を体験中

◆青少年のための自然体験

夏休み中、岩間体験学習館において、市内の子どもたちと都内の子どもたちが、さまざまな体験を通して交流する「夏の図工教室」が毎年開かれています。



泥プールづくりをお手伝い

生徒たちは、ボランティアの大学生と一緒に、泥プールづくりに汗を流しました。体験学習として多彩なメニューが用意されていることに生徒たちも驚いていました。

「指導者」

「巨人、大鵬、玉子焼」と言われた時代がありました。今も昔も王者巨人は常に勝たなければならない宿命にあると思います。今年の巨人軍は、原辰徳監督の若手育成が実った年であります。

一方、パリーグでは、楽天の活躍が注目を集めました。球団創立5年目にして初の2位、そしてなんとといっても野村克也監督の個性ある指導や、インタビューでの独特のコメントが注目を浴びました。スター選手がいるわけでもなかった球団を、無名選手や他球団から移籍してきた選手を中心に見事にまとめ上げ、2位に導いた手腕は見事の一言につきます。残念ながら退任ということで、球界の厳しさを感じます。

若い人の人材育成が厳しい昨今、原、野村両監督の若手の育成を図り、また、活躍の場がなかったり、実力が出し切れなかったりした選手の再生を果たした点は見習うべきことが多にありますが。「名選手は名監督にあらず」という言葉がありますが、

こんにちは市長室です



山口市長



庁舎見学に来た小学生に市長室を案内

私は両監督とも名選手であり名監督だと思います。

笠間市においても各スポーツ競技で多くの

方が指導者として活躍しています。指導者として共通していることは、熱意と夢を持って選手を育てていることです。指導者の皆さんの熱心な取り組みには頭が下がります。

笠間市内の競技選手、そして指導者の皆さんの活躍を期待します。市内には多くの金の卵が存在しています。

がんばってください。

笠間市長
山口伸樹